

---

# BLUMU satein

緒里

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

BLUME sat ein

### 【Nコード】

N6492K

### 【作者名】

緒里

### 【あらすじ】

僕が、梟の鳴き声に誘われて外に出たら、彼女はいた。

真っ黒のマントに身を包んで。そして、僕に言ったんだ。

「赤い月は、戦いのコイン」と・・・

何のことか、さっぱり分からなかった。・・・まだ。

でも、後に彼女と僕は、「BLUME sat ein」と呼ばれる

よじになる。

「赤い月夜の勇者」

## アゼンターになる(前書き)

頭の中のイメージをとにかく繋げてみました。  
いします。

感想、  
指摘、  
お願

## アゼンターになる

「おはよう」

「オッス！」

「宿題したー？」

色々な雑音の楽園。

中学校

その中に僕はいる。雑音の一因である、僕。椅子を倒し、声を張り上げる。それは、大切な僕の日常だ。

「まー君。」

ああ、今日もいた。沢口由衣、中2、、、、簡単に言つと、「才色兼備」だろう。

「んん。はよ。由衣ちゃん、かわいいねえー」

「もぉー。またあゝそついう事、言つちやダメだよ」

「ああ・・・いいじゃんよぉゝ」

我ながら、いちやいちゃしすぎだと思う。けど、しょうがないんだ。これが、「僕」だから・・・  
そつやつて、朝を過ごし、昼を過ごす。友達と馬鹿やつて、由衣ちゃんとべたべたして。

でも、学校じゃ馬鹿で、軽く、人気者の僕も本当は、すごく冷めたヤツ・・・なんだ。でも、でも、  
本当は、「石化音」のメンバー。「クーズット」なんだよな・・・  
そして、今日も。

「つっしや。一丁行くか！」

黒いマントを身に纏い、「THE DARKNESS」へ飛ぶ。

## 説明

「石化音」は、とある廃ビルの3階に本部を設けている。メンバーは、僕を入れて多分、7人。

リーダーの「ユウウ」 大2

情報収集の「まを」 高3

計画を立てる「法」 高3

実戦部隊の「ナオ」、「いお」、「吉拾」この三人は高2

そして、「僕」こと「ヨシ」。

このほかにも、幽霊部員的存在の奴らがいるらしいが、事実、分からない。

そして、もう一つ分からないことと言えば、僕が存在。なぜ僕には仕事が無いのか・・・分からない。

けれども、「ユウウ」によれば、もうすぐ訓練を始めるといふ。まあいいんだけどね。

この「石化音」のメンバーは昔からの仲・・・という訳ではなく、招待された人の集まりだといふ。僕らは、パソコンのメールてはないようだがによって無差別に集められた奴らだ。

もつと、細かく説明してみると、僕らの世界には「THE DARE KNESS」と呼ばれる、たくさんのグループがある。「THE DARE KNESS」は、簡単に説明すると「何でも屋」、「金で動

く連中」である。

そして、「THE DARKNESS」の頂点に登りつめた者の、  
「BLUMUSATEIN」と言われる。

「赤い月夜の勇者」という意味で、たくさんの奴らに崇拜さ  
れ、尊敬され・・・一生贅沢に暮らせるとか言われている。

分か

つたかな？

僕らの説明だっただけだな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6492k/>

---

BLUMU satein

2010年10月21日08時38分発行